

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公表番号】特表2014-520950(P2014-520950A)

【公表日】平成26年8月25日(2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報2014-045

【出願番号】特願2014-521748(P2014-521748)

【国際特許分類】

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 133/00 (2006.01)

C 09 J 153/00 (2006.01)

C 09 J 175/04 (2006.01)

【F I】

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 133/00

C 09 J 153/00

C 09 J 175/04

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月21日(2015.7.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

歪んだ一時的な形状及び固有形状と第1及び第2の対向する表面とを有し、それぞれがその内部に幅を有する複数のスリットのうちの少なくとも1つを含む領域、を有する形状記憶ポリマーシートであって、前記複数のスリットが全スリット長を画定し、そして転移温度範囲以上に加熱される場合は、形状記憶シートがその歪んだ一時的な形状から固有形状に少なくとも部分的に変換する、形状記憶ポリマーシートと、

第1の厚さ、並びに第1及び第2の対向する表面を有する第1接着剤層であって、前記第1接着剤層が感圧接着剤を含み、そして、前記第1接着剤層の第1の対向する表面の大部分が、歪んだ一時的な形状にある前記形状記憶ポリマーシートの第1の対向する表面の大部分上に配置される、第1接着剤層と、

第2の厚さ、第1及び第2の対向する面を有する第2接着剤層であって、前記第2接着剤層の第1の対向する面の大部分が、歪んだ一時的な形状にある前記形状記憶ポリマーの第2の対向する面の大部分上に配置される、第2接着剤層と、

を備え、

前記接着剤層の少なくとも一つが発泡接着剤を含むものである、熱剥離可能な接着剤物品。

【請求項2】

歪んだ一時的な形状及び固有形状と第1及び第2の対向する面とを有し、それぞれがその内部に幅を有する複数のスリット含み、転移温度以上に加熱される場合には、その歪んだ一時的な形状から固有形状に少なくとも部分的に変換する、形状記憶ポリマーシートであって、第1及び第2の対向する面を有する第1接着剤層が、形状記憶ポリマーの第1の対向する面の大部分上に配置されている形状記憶ポリマーシート、を準備することと、

前記第1接着剤層の第2の対向する面を第1基材に適用することと、

を含む、剥離可能な接着剤物品の調製方法。

**【請求項 3】**

歪んだ一時的な形状及び固有形状、転移温度、第1及び第2の対向する表面を有し、その内部に複数のスリットを含む領域を備える形状記憶ポリマーシートと、

第1の厚さ、並びに第1及び第2の対向する表面を有し、第1接着剤層の第1の対向する表面が、歪んだ一時的な形状にある前記形状記憶ポリマーシートの第1の対向する表面の大部分上に配置される、第1接着剤層と、

前記第1接着剤層の第2の対向する表面の大部分と接する面を有する第1基材と、を備える、第1及び第2の対向する面を有する第1基材を備える物品を準備することと、

第1転移温度を超える第1温度まで前記物品を加熱し、前記第1の形状記憶ポリマーシートをその歪んだ一時的な形状から固有形状に変換することと、

前記第1基材を剥離することと、

前記第1接着剤層を前記第1基材上に位置したままにしておくことと、を含む、接着剤物品の剥離方法。

**【請求項 4】**

前記物品が、

第2接着剤層の第2の対向する面の大部分と接する第2基材を更に備え、前記第2接着剤層は剥離工程の後に前記第2基材上に位置したまま残る、請求項3に記載の接着剤物品の剥離方法。